

理工学部の求める教員像及び教員組織の編制方針

(1) 求める教員像

- 本学の求める教員像を踏まえ、理工学部における教育・研究・社会貢献・管理運営の各種活動に意欲的に取り組める者
- 理工学部の人材育成に関する目的、卒業認定・学位授与の方針等に掲げる能力を教授するにふさわしい「理学・工学の分野の研究者・技術者・設計者に求められる学識・技術・研究方法を習得し、学術的あるいは実務的課題を学際的な見地から自ら発見して解決する能力を有し、社会に対する良識と責任意識を持ち、文化の維持発展に寄与することのできる、指導力を持った人材の育成」を達成する能力を有し、継続的にその資質・能力の向上に努める者
- 事物の本質を探究する理学とその知見を応用する工学の連携のもとに確かな研究を展開し、科学と技術を創造するとともに、専門分野の研究成果を通して社会に貢献できる者
- 国際的な視野を持った理工系人材の養成及び世界に向けて最先端の研究を発信することにより、理工学部のグローバル化に貢献できる者
- 周囲の教職員と多様性を認め合い協働しながら、理工学部・所属学科における教育研究活動並びに学部・学科の合意形式等の活動に対し、自らの役割を果たすとともに、大学全体の管理運営にも寄与できる者

(2) 教員組織の編制方針

- 理工学部・各学科の目的、方針（ポリシー）を実現するために必要な教員を適切に配置する。
- 理工学部・各学科における教育研究活動を継続的に実施するため、年齢構成、職位及び性別のバランスに配慮しながら、多様な人材を配置する。
- 各学科の自主性を尊重すると共に、学部全体の合意形成等の各種活動に対して、教員間で連携・協働するために、適切にその役割を分担する。
- 教員の募集・採用・昇任等にあたっては、理工学部・学科の運営に資する人事であるかに留意し、本学の関係諸規程等に基づくとともに、透明性・適切性を担保しつつ、公正・公平に行う。